

前 書 き

文化庁では、今後の国語施策の改善に資するために、明治以降、今日に至るまでに発表された国語施策の改善に関する各種の案及び実施された施策並びにそれらに関する論評等を計画的に収集整理し、「国語施策沿革資料」として、まとめることにしている。

本集は、その第6集として、政府機関等から発表された外来語の表記に関する諸案5種を収録し簡単な解説を加えたものである。

昭和60年3月

文化庁文化部長国語課長

後 藤 英 夫

凡 例

- 1 本資料集は、政府機関等から発表された外来語の表記に関する諸案 5 種を収録したものである。
- 2 各文献は、底本とした資料の原文のまま採録することを原則とした。ただし、
 - (1) 漢字は現行の字体に改めた。
 - (2) 縦書きのものは、横書きに改めた。
 - (3) 明らかに原文の誤植と認められるものは訂正した。
 - (4) 振り仮名、傍点の類は、特に必要と思われるもののほかは省略した。
- 3 参考のために、各文献の前に簡単な解説を添えた。
- 4 本編の編集・作成は、主任国語調査官 安永 実 と国語調査官 亀原壮夫が当たった。